

会報

秋

No.147

2009.10

社団法人北海道電業協会



目 次

「時の経過とともに価値を増す公共建築物の整備」 ……………北海道建設部建築局建築整備課 参事 増 田 浩 泰…	1
法人職務執行者就任ご挨拶 ……………札幌日信電子(株) 代表取締役 荒 川 正 一…	2
……………(株)北海道ジーエス・ユアササービス 代表取締役 中 川 渉…	2
……………(株)協和エクシオ北海道支店 支店長 林 誠…	3
……………(株)きんでん北海道支社 支社長 岡 竹 俊 和…	3
……………新生テクノス(株)北海道支社 支社長 白 井 英 典…	4
平成21年度 安全大会……………	5
平成21年度 札幌市電気設備施工研修会……………	6
平成21年度 北海道の建築工事に係る合同研修会……………	7
北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会……………	8
1級(実地)電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会……………	9
技術系学校の先生との現場見学・懇談会……………	10
技術系大学生等との現場見学会……………	11
—シリーズ— 1/212だより ・人とまちと自然がとけあうまち・北広島市 ……………北広島市長 上 野 正 三…	12~13
・元気発信・笑顔の大地・夢開花 なかがわ ……………中川町長 亀 井 義 昭…	14~15
平成21年度 登録電気工事基幹技能者特例講習会……………	16
現場からこんにちは……………	17
厚生委員会行事報告……………	18
第3・4回ゴルフ部会コンペ成績……………	18
第1回ボウリング部会報告……………	19
野球部会 活動報告……………	20
業界だより、理事会・三役会・委員会報告……………	21~22
事務局日誌……………	22~23
編集後記	



「時の経過とともに価値を増す 公共建築物の整備」

北海道建設部 建築局建築整備課

参事 増田 浩 泰

(社)北海道電業協会の皆様には、日頃から北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は今年4月に、釧路土木現業所から建築整備課参事に就任しました。営繕行政とりわけ電気設備の業界とは、これまであまりご縁がありませんでしたが、よろしく願いいたします。

さて、去年の金融危機に端を発した世界的な景気後退は日本経済にも大きな影響を与え、国は定額給付金、高速道路ETC割引、エコ家電、エコカー減税、さらにはスクールニューディールに象徴される環境対策への投資など、大型補正予算により、内需拡大に伴う景気回復を目指したところで

す。北海道をはじめ、これに連携した取り組みを行う地方自治体の多くは、自主財源が逼迫し、建築関係の公共事業を抑制する傾向にあり、少なからず、皆様の経営環境にも影響を与えていることと思います。

さらに、公共事業は過去の様々な不祥事で、その執行にあたり不透明さが問われるなど、いまだにマイナスイメージが先行しており、かつては、経済・雇用対策の寵児としてもはやされた施策もその評価は低くなり、削減議論の中心に据えられることが多く、時代感覚にあった新しい施策が求められることは勿論のこと、何よりも適正に評価される環境づくりに取り組むことが重要だと考えます。

このイメージを払拭するため、事業者、発注者、施工者はそれぞれ、本来の役割を果たすことが重要であると考えております。特に、発注者は発注者責任の責務を果たすとともに、厳しい経済状況にあってもCO₂削減に寄与する「ものづくり」で社会貢献しなければならないものと考えます。また、皆様にあっては、持てる施工技術を適切に発揮し、質の高い「ものづくり」でエンドユ

ーザーの期待に応えることが重要と考えます。

建設部の発注する工事においては、これまで受注競争の激化などで、平均落札価格がかなり低くなっていった地域があり、品質確保、安全施工、下請、労賃などに対する悪影響が懸念されたところでもあります。

こうした状況を踏まえて、建設部では7月16日の入札工事から「最低制限価格」を実質的に引き上げました。併せて、労務費調査、施工体制調査、安全パトロールなどにより、このようなことが無いよう調査内容や罰則規定を一層強化したところであり、業界のさらなる健全な発展が望まれるところです。

先の第2回定例議会や8月の臨時議会では、追加緊急経済対策関連予算が可決され、この内、当課に係る営繕関係の主な事業内容では、道営住宅の長寿命化対策としての改善事業や、環境対策として、道立学校や道立技術専門学院等への総計525kW規模の太陽光発電システム設備導入事業などが認められました。当課ではこれらの事業を出来るだけ早期に発注することで、少しでも活性化に役立てばと考えております。

さらに、建築局では「時の経過とともに価値を増す公共建築物の整備」を基本理念として、文化や地域性のほか省エネ等の環境に配慮しつつ、顧客に満足してながく使用して頂ける「ものづくり」に取り組んでおり、これらの事業実施にあっても、この基本理念を踏まえた計画・施工とすることが重要だと考えています。

また、このことの具現化には、皆様方の確かな技術力が必要不可欠であり、今後とも、良きパートナーとして一緒に取り組んでいきたいと思っております。

最後に、貴協会のますますの発展と会員皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



札幌日信電子(株)
代表取締役

荒川 正一

初秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し

上げます。

このたび、前社長三井尚の後任として就任いたしました荒川正一でございます。

平素より当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり心より厚くお礼申し上げます。

当社は昭和45年に日本信号株式会社が札幌市交通局に納入した信号保安装置および情報制御装置の保守業務を担当するために創立され、地下鉄とともに発展し、保守部門を核として営業、設計、工事部門を拡大進展させてまいりました。

地下鉄の快適で安全な運行確保のため、当社は高度な技術を持って日夜邁進いたしております。

高度情報化、国際化、高齢化社会の到来と都市構造の急激な変化にも即座に対応していけるように、これまで蓄積されたノウハウを十分活用し、様々な新技術の修得、さらなる技術の研鑽に努めております。

北海道経済はまだまだ厳しい状況が続いておりますが、当社一丸となり新たな発想を持ち、現在の環境の変化にも対応し、省資源、省エネルギーなどへの取組も積極的に進めております。

今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、当協会のますますのご発展と会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



(株)北海道ジーエス・ユアササービス 代表取締役

中川 渉

秋晴れの心地よい季節となりましたが、会員の皆様におかれましては、益々ご

清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、仁科聰の後任としてさる6月24日の株主総会並びに取締役会で選任されました中川渉でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚くお礼を申し上げます。前任者同様どうぞよろしくようお願い申し上げます。

さて、私事ではありますが、親会社での勤務時代には札幌を皮切りに東北、東京、関西、と主に営業畑を担当してきました。ようやく地元北海道に戻る事が出来たことから、地元企業である当社

に腰を落ち着ける事が出来ました。

当社は昭和47年2月に北海道ジーエスサービス(株)として創業、平成17年10月に現在の社名への改名と共に、業務範囲・陣容ともに大きく拡大致しました。主に非常用電源・蓄電池設備関連を基幹業務とし、様々な社会インフラにおける安全機能の強化と保全に取り組む中で業務内容も拡大し、多様な実績を積み重ね電気設備工事に関する総合技術力を有する会社へと成長致しました。環境・クリーンエネルギーの担い手として昨今は電池がキーワードとなりつつあります。当社業務の重要度も一層増大していますが、環境周辺技術の蓄積にも積極的に取り組み社会に一層貢献できる企業に発展させて行きたいと考えております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健康をご祈念いたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。



(株)協和エクシオ北海道支店
支店長

林 誠

中秋の候、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

私はこの7月に協和エクシオ北海道支店に着任しました林です。どうぞよろしくお願いいたします。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、弊社は情報通信ネットワークをはじめ、電気、環境、土木等の分野で設計から施工・保守までの一元的なサービスを全国で提供させていただいている、55年の歴史を持つ会社です。

私は6月まで(株)NTT東日本北海道支店の法人営業部で道内の法人様や地方自治体様に各種ソリューションや回線提案を行っていました。一昨年の北海道洞爺湖サミットではメイン会場や留寿都の国際メディアセンタ等の放送、通信、インターネ

ットなどの構築・保守・運営を担当し、これまで得ることの出来なかった貴重な経験をさせて戴きました。

NTTでは法人営業部の7年間を除くほとんどの期間を電気通信設備の企画・構築・保守等の業務に携わっていましたので、通信技術に関わる事は多少わかっているつもりでございましたが、最近の技術の進展は目覚しく着任早々から目新しい言葉に戸惑っているところです。

この広い北海道において、これまで電気事業に関わる各種インフラが整備されてきていますが、更なる北海道の発展のために電業協会が果たすべき役割は益々重要になって来るものと思います。その中で弊社が少しでもお役に立てるよう「きょうもエクシオ！」をスローガンに社員と共に取り組んでいるところです。

北海道電業協会の一員として、また道産子の一員として微力ながら尽力する所存ですので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



(株)きんでん北海道支社
支社長

岡 竹 俊 和

初秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私儀、6月25日付けにて前支社長工藤洋の後任として北海道支社長に就任し、又8月26日開催の当協会理事会において、理事に選任されました岡竹俊和でございます。

出身は山口県で、自宅は福岡にかまえております。

昭和49年の入社以来、広島、大阪、九州、東京、横浜、と各地をまわり、そしてこの度北海道勤務となりました。北は北海道、南は九州まで勤務し、会社から色々な経験をさせて頂いております。

さて、現在の日本経済は低迷しており、特に北海道においては危機的状況が続いております。しかし、この厳しい状況をスタート地点と考え、一

歩ずつ前進していければと考えております。皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

北海道は大地の恵みが豊富で、美味しいものが沢山あると聞いております。

また、豊かな自然環境に育まれた北海道に住む人々の人間性は、とても素晴らしいものだと感じております。

北海道に赴任したことを感謝し、今迄培ってきたものを全て出し切り少しでも本道発展のためにお役に立てればと考えております。

赴任して未だ3ヶ月と業務面でも東奔西走の毎日ですが、諸先輩のお力添えを得まして、出来るだけ早く当地に馴染み、当協会の会員各社が企業存続のため、切磋琢磨しながらお互いに協調協力し、業界全体の発展・地位向上に少しでも役立つように努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが会員皆様のご繁栄とご健勝を衷心よりご祈念申し上げ、理事就任の挨拶とさせていただきます。



新生テクノス(株)北海道支社
支社長

白井英典

実りの秋を迎えた今日このごろですが、会員の皆様におかれましては、益々ご

清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、7月1日付けで、北海道支社長に就任致しました白井英典でございます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり心より厚く御礼申し上げます。

さて、戦後の復興、経済再建にあたり、基幹産業の復旧発展のため、国内輸送の太宗を占める鉄道輸送力増強が電化を背景に行われました。その担い手として、戦後まで中国大陸各地で鉄道の電気関係業務に従事し、優秀な技術と豊富な経験を有していた電気技術者が集まり、昭和22年5月に新生電業株式会社が設立されました。

その後、平成初期にバブルの崩壊後、回復の兆しが見えず長期にわたる経済低迷が続いておりました。

新生電業株式会社は、総合電気設備工事業として時代を生き残るため、平成8年にJR東海電気工事株式会社と合併し、新たなスタートで新生テクノス株式会社と改名し10年を経過し安定した経営環境になりました。

しかし、地方の経済環境は依然と厳しい状況下で、特に当社の東北・北海道方面は組織の改正を余儀なくされ現在に至りました。

今後も、今まで同様に皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様におかれましても、尚厳しい状況ではありますが、協会・会員の団結力で、各社様のますますの発展と関係者のご健勝を祈念申し上げ、新任就任の挨拶とさせていただきます。



平成21年度 安全大会



平成21年度安全大会は、一般社団法人札幌電設業協会と共催で6月17日(水)午後1時30分より北海道電気会館において開催された。

本年も6月1日～30日までを準備期間、7月1日(水)～7日(火)を全国安全週間（スローガン：定着させよう「安全文化」つみ取ろう職場の危険）として実施されます。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場管理技術者まで約190名が参加し、労働災害防止策や交通安全に対する意識付けについての講話を受けた。

開会の挨拶で札幌電設業協会の橋本安全衛生委員長から、ハインリッヒの法則を引き合いに「一切のヒヤリハットを起こさないという気持ちで作業に望んで、経営者と現場が一体となって、安全体制の確立に努めて欲しい」と力強く呼びかけた。

安全講話では札幌市都市局日當電気設備課長から、市内の工事事故事例やパトロールでの事例紹

介があり、同様のことがないように指導された。道警本部の杉目課長からは交通安全のポイントなどを、具体的な事例を交えて講話をいただいた。

閉会の挨拶で、北海道電業協会の広島専務理事から、参加した全員に安全意識の高揚を訴え安全大会を終了した。



安全講話 日當 雅博 様
(札幌市都市局建築部電気設備課長)



開会挨拶 橋本 耕二 安全衛生委員長
(一般社団法人札幌電設業協会)



交通安全講話 杉目 眞 様
(北海道警察本部交通部交通企画課長)

平成21年度 札幌市電気設備施工研修会



平成21年7月22日(水)午後1時30分から北海道電気会館において、当協会と札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約150名が参加した。今回で26回目となるこの研修会は、札幌市から担当者をお招きし、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明があった。

最初に、市建築部の日當電気設備課長から、今後の発注について、幌北団地、下野幌団地の建て替え、身障者障害者福祉センターの改修、老朽化した区役所の受変電改修工事など見通しを示し、さらに、北海道洞爺湖サミットでも話題になった「環境」について、二酸化炭素削減のため、「これからは新エネルギー・省エネルギーの導入が重要になってくる」と述べられ、札幌市の取り組み状況などを説明した。

工事管理室の横田係長からは、2008年度の電気工事成績評定の平均点が75.2点と07年度よりも0.5点上昇したことを報告「年を追うごとに施行管理が良くなってきている。みなさんの日頃の努力によるもの」と、各社の技術力の向上について評価された。

続いて、各社が事前に提出していた質問事項に対する回答、検査結果に対しての報告、講評などがあった。



日當 電気設備課長 様

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話
2. 電気設備工事検査に関する講評および業界からの質問・要望に対する回答
3. 電気設備工事に関する留意事項および業界からの質問・要望に対する回答
4. 工事提出書類の見直しについて

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長	日當 雅博 様
電気一係長	中村 範仁 様
電気二係長	山本 哲 様

札幌市財政局管財部工事管理室

電気検査担当係長	横田 和裕 様
〃	吉田 匡雄 様

平成21年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



当協会と北海道電気工事業工業組合、(社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で、平成21年7月16日(木)KKRホテルにおいて、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成21年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催した。

この研修会は全道から4団体役員等、約100名が出席した。

最初に主催者を代表して、空衛協会の小坂副会長から、設備業界をめぐる経営環境の厳しさを訴え、その対応策として、自らの経営革新など公正かつ適正な事業活動の推進が重要と認識し事業活動を行っている現状を説明。

続いて、増田参事からのご挨拶のなかで、来年度の設備関係予算について、平成20年度2次補正と平成21年度予算併せて工事費ベースで、本年度より上回る予定。主なものでは、昨年度と同様に改修工事を中心となると思う。道営住宅の新築や高校、養護学校の改築がある。今年度の特徴として環境対策、長寿命化改修にシフトしている。その環境対策として、道有施設の省エネ、二酸化炭素排出削減方策についての考えを述べられた。

引き続き、各事業担当者から道の取組み状況など、資料に基づき説明された。

研修後の質疑応答では、業界側からあらかじめ提出された質問・要望について同局は、分離発注の継続や防災協定の締結などについて前向きな姿勢を示していただいた。

研修会次第

1. 開会挨拶 (社)北海道空調衛生工事業協会
副会長 小坂 典行
2. ご挨拶 北海道建設部建築局建築整備課
参事 増田 浩康 様
3. 研修内容
 - (1)入札制度の改正等について
計画管理課管理契約G 主査 中村 廣行 様
 - (2)瑕疵担保履行法における取組みについて
 - (3)単品スライド条項の取組みについて
計画管理課建築技術G 主査 小野 秀樹 様
 - (4)総合評価方式の試行について
計画管理課営繕企画G 主任 酒井 渉 様
建築整備課電気設備G 主幹 北村 信之 様
 - (5)質疑応答
4. 閉会挨拶 (社)北海道電業協会
副会長 中野 章



ご挨拶 増田参事 様

北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成21年9月9日(水)13時30分から北海道設備会館において、当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催（電気・空衛連絡協議会）で、北海道開発局営繕部林部長をはじめ幹部の方々のご出席をいただき、意見交換会を実施した。

【議 題】

1. 北海道開発局営繕部の組織改正
2. 平成21年度開発局営繕事業概要
3. 積算の動向について
4. 総合評価落札方式について
5. 両協会からの要望事項・質問事項及び事業取り組み状況について
6. その他、質疑及び意見交換

【出席者】

○北海道開発局営繕部

部 長 林 理 様
 営繕管理課長 湊 雅則 様
 営繕整備課長 板橋 薫 様
 技術・評価課長 須藤 光幸 様
 営繕品質調査官 山田 雅典 様
 整備課 課長補佐 山本 宏 様
 整備課 課長補佐 山崎 雄司 様

○(社)北海道空調衛生工事業協会

会 長 池田 薫
 副会長 小坂 典行、中山 治之
 西川 清一、渡部 正博
 常任理事 田村 隆幸、植田 米男、

千葉 清孝、徳本 章、
 里中 雅幸
 事務局長 小林 雅英

○(社)北海道電業協会

会 長 吉川 照一
 副会長 中野 章、山口 勉、
 樋口 雄一
 理 事 加藤 勝利、萩本 哲夫、
 岡竹 俊和、西山 陽一
 経営副委員長 元永 修
 専務理事 広島 維夫
 事務局長 枝並 秀喜



ご挨拶 林 部長 様

1級（実地）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成21年9月7日(月)、北区のセントラル札幌北ビルにおいて(社)日本電設工業協会北海道支部と(財)地域開発研究所との共催による受験準備講習会を開催した。

この日の受験準備講習会には、学科試験に合格した62名が受講し、施工管理技士の資格取得に向けて、講師が説明する過去の出題傾向から、実際に記述するうえでの注意事項について勉強した。

本試験は10月18日(日)に行われ、合格発表は来年2月5日の予定。同試験に合格すると、1級電気工事施工管理技士の資格が得られ、建設業法に定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場

場に置く監理技術者として認められ、建設業法に基づく経営事項審査において、資格者一人あたり5点が配点され、公共工事を受注する際の企業の技術力として評価されるなど重要な資格です。

受講生は、事前に購入していた「実地試験問題解説集」と、当日配布された過去の出題傾向と問題項目の資料をもとに熱のこもった講義が行われた。講師からは、年々試験が難しくなって昨年度の合格率は前年度比で16.5%低い61.6%になっている厳しい現状説明があった。特に配点が高い施工経験記述では、具体的な現場経験の有無が問われるので、経験した事をそのまま書くこと。文章が不得手な人は箇条書きがよい。などのアドバイスがあった。

また、今年度の問題を予測するのは難しいが、労働災害、工程管理、施工管理、に関する解答を予め準備しておくこと。文章の構成も主語、述語の基本的な使い方など、日頃から簡潔にまとめるよう訓練が必要である。など注意喚起して丸一日の講習会を終了した。

講習プログラム

時間	科目	講師
9：20～10：50	電気設備全般	社団法人公共建築協会専門委員 小島 敏光
11：00～12：25	法規	
12：25～13：15	昼休み	
13：15～15：20	施工管理（品質・安全管理を含む）	大成建設株式会社 設備次長 小林 由嗣
15：30～16：40	施行経験記述指導	

技術系学校の先生との現場見学・懇談会



平成21年7月29日(水)午前10時30分から当協会および日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校の先生との現場見学・懇談会を開催した。

電業協会と技術系学校相互の現状認識の把握と業界への意見、要望を聞くために毎年行っている。

今回は専門学校2校、高校5校から7名の先生が出席。協会からは中野副会長をはじめ8名が出席した。

今回は、北洋大通センタービル新築工事の現場で、平成20年3月着工して平成22年3月完成予定で進められている。

見学前に北洋大通センター新築工事共同企業体の阪副所長から北1西3井門ビル9階の会議室において、工事概要の説明後、現場へ向かった。

午後1時から同会議室において懇談会を実施した。開会にあたり中野副会長から、最近の建設業界を取り巻く厳しい環境や団塊世代の大量退職と

いった現状を説明。今後は地球温暖化に対応するため省エネルギー・新エネルギー需要や既存設備のリニューアルなどの急拡大が予想されるので、これら新たなビジネスチャンスに対応するため、人材確保や育成は業界として重要である、これからも優秀な人材を当協会に送り込んでいただきたいと挨拶された。

懇談に入り、協会からは加藤総務委員長から当協会の事業内容の説明があり、続いて事務局から道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成21年3月卒業生の就職状況」及び「平成21年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告した。

学校側からは、最近進学よりも就職の割合が増加傾向にある。就職は道内志向が強く、優秀な人材を道内に残したいが、道内企業は求人数が少ない。

また、インターンシップなどを通じ就職先として電気工事に興味を示す生徒が増えているが、地元では専門性を生かせる就職口が少ないため、あえて他業種に進む生徒もいる。などの意見要望があった。

当日の参加校、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、函館工業、美唄工業、札幌琴似工業、北見工業、留萌千望高校



技術系大学生等との現場見学会



平成21年8月5日(水)午前9時30分から当協会および日本電設工業会北海道支部共催による技術系大学生等との現場見学会を開催した。当日の参加者は北海道職業能力開発大学校、札幌科学技術専門学校の2校から教授2名、学生9名が参加した。

今回の現場は北海道開発局が発注した小樽地方合同庁舎。当施設は、小樽市の観光スポットである小樽運河や倉庫郡に隣接する臨港地区にあり、第2埠頭と第3埠頭の間に位置する特性を活かし、海からの存在感を意識した外観としている。また、阪神・淡路大震災クラスの大地震にも耐える構造計画で、災害時には72時間機能する電源を確保している。平成22年3月完成予定。

当日は、「出前講座」として、北海道開発局営繕部保全指導・監督室の工藤昭宏氏を講師に招き、施設の概要などを説明いただいた。

続いて、電気を担当する北海電気工事(株)の嶋崎光樹所長と主体を施工する鴻池組の相沢久史所長

の案内で1階から7階までの各フロアの施行状況を見学した。

午後からの懇談会では、加藤総務委員長から事業内容などの概要説明があり、つづいて澤田技術安全副委員から、資格取得試験などについて説明があった。特に、国家試験の資格取得に向けて、旺盛に取り組むようお願いした。

同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場の最先端設備に触れる事ができて大変勉強になった。今後も継続していただきたい。

現場責任者の説明を聞いて現場での仕事ぶりを感じ取る事ができ学生たちにとっては大変有意義であった。今後も継続して欲しい。

生徒からは、普段見ることのできない現場を見ることができて大変勉強になった。特に安全管理については細心の注意がされて徹底しているところを感じた。自分も卒業後は電気工事会社を希望しているので、現場責任者を目指して資格取得にチャレンジしたい。などの意見・感想があった。





人とまちと自然がとけあうまち・北広島市

北広島市長 上野正三



北広島市は、石狩平野の中央に広がるなだらかな丘陵地帯にあります。たくさんの樹木や花々がまちを覆い、カワセミやアオサギ、エゾリスなどの野鳥や小動物がすむ自然の宝庫です。

札幌市と新千歳空港の中間にありながら、身近に自然を感じることができる、自然と都市機能が調和したまちです。

市名のもとになっている「広島」は、明治時代に広島県からの入植者が開拓したことに由来します。広島県から25戸が移住して開拓が始まり、今日の基礎が築かれました。以来純農村として発展しましたが、その後、道央圏の中で宅地開発や工業団地の造成、都市施設の整備が着実に進み、平成8年9月1日に市制を施行しました。

広島県人の入植から125年たった今も、そのフロンティア精神とまちづくりの歩みを受け継ぎ、自然と共生しながら、人々が広域的に交流し連携するまちづくりを進めています。

◆芸術文化ホール・図書館



JR北広島駅に隣接する芸術文化ホールは、花ホールの愛称で親しまれています。市民の文化活動の拠点です。

また併設の図書館では、ゆったりと読書を楽しむことができます。

◆エルフィンパーク

JR北広島駅に直結する開閉式のドーム空間です。明るく陽の光に満たされたエルフィンパークは、市民が作品を展示したり、催しを開催したりする、交流とくつろぎの広場です。



◆旧島松駅通所

駅通は、駅舎と人馬を備えて、宿泊と運送の便をはかるため設置されたもので、開拓期の北海道で重要な役割を果たしました。

島松駅通所は明治6年、札幌本道（現・国道36号）の開通に伴い設置されたものです。

札幌農学校（現・北海道大学）の初代教頭に招かれたクラーク博士が、帰国の途中に立ち寄り、「青年よ大志を懐け」の名言を残した地だとも言われています。

昭和59年国史跡に指定され、当時の駅通の構造を残す建築物としては道内最古のものです。

◆寒地稲作発祥の地

旧島松駅通所に隣接して「寒地稲作発祥の地記念碑」があります。明治6年に、当時道央では困難とされていた水稻栽培に成功したことをたたえています。兵庫県から単身で移住した中山久蔵が成し遂げたこの偉業をきっかけに、畑作や酪農を奨励していた当時の北海道の農業政策は、大きく変更されました。



◆ゴルフ場

北広島市には8カ所のゴルフ場があり、国内外からプレイヤーが訪れます。名門コースも多く、男子のプロゴルフ大会「ANAオープンゴルフトーナメント」や女子の「明治チョコレートカップ」などの大会が開催されます。大会では、多くの市民ボランティアが活躍します。



◆エルフィンロードとハーフマラソン大会



エルフィンロード（道道札幌恵庭自動車道線）は、札幌市と北広島市を結ぶ都市間自転車道です。旧国鉄千歳線の廃線敷きを利用して整備されました。将来は、豊平川から当市を經由し、恵庭市までつながる予定です。

沿道には、野幌原始林をはじめとする豊かな森林が連なり、小鳥のさえずりや北海道の原風景が心を癒してくれます。自転車での利用はもちろんのこと、ジョギングや散策、冬は歩くスキーなど、四季折々の楽しみ方で市民に親しまれています。また、市民団体によるサイクリングやウォーキングなどの催しも盛んに行われています。

毎年7月、この自転車道で開催するハーフマラソン大会には、全国からランナーが挑戦します。今年も、子どもから大人まで約1500人がさわやかな汗を流しました。

毎年7月、この自転車道で開催するハーフマラソン大会には、全国からランナーが挑戦します。今年も、子どもから大人まで約1500人がさわやかな汗を流しました。



◆北広島ふるさと祭り

北広島の夏の風物詩です。盆踊りやYOSAKOIソーラン、ゴスペルコンサートなど多彩な催しに、多くの市民が訪れます。





元気発信・笑顔の大地・夢開花 なかがわ

中川町長 亀井義昭

中川町は上川支庁管内の最北部に位置します。東に北見山地、西に天塩山地が走っており、この両山地の中央を流れる北海道遺産「天塩川」とこれに合流する安平志内川流域に沿って南北に細長く拓けています。地形は山岳地と平野地に大別され、平野地は一部の泥炭地を除き、肥沃で農耕に適しています。気候は日本海沿岸型に属し、春は雨が少なく秋に多くなります。また寒さが厳しく積雪も多いのが特徴です。

■北海道丸太押し相撲大会・秋味まつり

天塩川河川敷特設ステージで行われる、長さ10m、重さ100kgの丸太を5人（女性は6人）で押し合う丸太押し相撲。白熱する勝負に観客も思わず力が入ります。

同日開催の秋味まつりは、収穫の秋の味覚を味わいながらさわやかな秋を満喫するイベントです。秋味千人鍋や農産物の販売、サケのつかみどりなどのイベントが行われます。



■公共温泉施設「ポンピラアクアリズイング」

川のほとりに静かにたたずむアクアリゾートです。のんびりと湯を楽しめる大浴場と、プールでリゾート気分を味わえるクアールの2つのリラクゼーションを備え、癒し効果を高める窓外の天

然林が好評です。客室からは森と清流の景色が広がり、レストランでは季節の食材を使った料理を堪能できます。もちろん、日帰り入浴もできます。



■オートキャンプ場「ナポートパーク」

森と清流に囲まれ、カヌーや釣り、森林浴など野外キャンプの醍醐味を満喫できるオートキャンプ場です。電源設備付きのオートキャンプサイトが25サイトあり、センターハウスには多目的トイレや洗面所、シャワー、売店などが備わり、別棟のバーベキューハウスはキャンパー以外の利用も可能です。近くの川では、子どもでも安心のカヌー体験や魚釣りもできます。



■中川町エコミュージアムセンター

自然誌博物館と宿泊型研修体験施設からなる複合施設です。全長11メートルの日本最大級のクビナガリュウの復元骨格をはじめ、恐竜時代の地層から見つかった多くのアンモナイト化石などを展示しています。地層観察教室など、多くの体験学習イベントを開催しており、また、小中学校などの宿泊研修での利用も受け入れています。



■天塩川春発信inなかがわ

冬、全面結氷する天塩川の解氷日時を予想するイベントです。見事に的中した正解者には地元農産物や特産品が1年間毎月送られるほか、5万円分の旅行券と公共温泉施設「ポンピラアクアリズイング」のペア宿泊券を進呈します。また、応募者の中から抽選で50名に、神山純一氏が作曲したCD「天塩川音楽紀行」を差し上げます。



■天塩川でのカヌー下り

ゆったり流れる自然のリズムで、川面からの新鮮な風景を楽しむことができるカヌーツーリング。野鳥の声、木の香り、水面の魚影。自然と対峙する濃密な時間は、カヌーならではの妙味です。全長256km、国内第4位の長さを誇る天塩川の下流域は、護岸が少なく緩やかに蛇行する絶好のカヌーポイントです。オートキャンプ場「ナポートパーク」では、カヌー用品のレンタルとカヌーポートまでの搬送サービスを行っています。



■ポンピラソーセージ・フランクフルト各種

北海道産豚肉100%のソーセージは、ひとつひとつ手作りです。パリッとした歯ごたえとジューシーな味わいを楽しめます。特殊製法でにおいを抑えたギョウジャニンニク入りなど、いろいろなバリエーションを揃えています。



平成21年度 登録電気工事基幹技能者特例講習会



(社)日本電設工業協会北海道支部主催による登録電気工事基幹技能者特例講習会を、平成21年9月11日(金)に北海道電気会館において開催し全道各地区から62名が受講した。

この講習会は、平成19年より以前に電気工事統括技士および電気工事基幹技能者の資格を取得した人が、平成21年度より実施される経営事項審査で加点評価されるための特例講習会で平成20年度から平成24年度までの5年間実施される。

(社)日本電設工業協会では、平成10年度から国土交通省が提唱する「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を踏まえ、いち早く電気工事基幹技能者認定講習会を実施し、平成19年度以前までの旧制度における認定者は全国で10,779名、このうち道内では432名。平成20年度からの新制度での認定者数は全国で2,337名、道内では97名となっている。



開会挨拶 広島専務理事

初めに、当協会の広島専務理事から、特例講習会の開催経緯について説明。さらに「高い能力を持った基幹技能者としての役割を認識し、現場で有効に反映させて欲しい」と挨拶した。

講習会では、当協会技術安全委員会のベテラン委員5名が講師となり、特例講習テキストに基づき行われた。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会技術安全委員会
専務理事 広島 維夫
2. 建設技術者の労働環境
電気工事基幹技能者のあり方
関連法規
今野 正章 氏
北海電気工事(株)電設工事部長代理
3. 基幹技能者の現場実務 1
吉崎 敏明 氏
拓北電業(株)取締役営業本部長
4. 基幹技能者の現場実務 2
外岡 甫 氏
協信電気工業(株)常務取締役
5. OJT教育
澤田 博 氏
三共電気工業(株)常務取締役工務部長
6. 専門講習
内山 優 氏
(株)北弘電社技術部 担当部長

現場からこんにちは

工事名称：新篠津中学校改築事業電気設備工事

工事場所：石狩郡新篠津村125-3,4,1322-1,2
1217-1,1218-2,3,4,5

工 期：平成21年3月19日～平成22年2月26日

工事規模：鉄筋コンクリート造地上2階 塔屋1階

発注者：新篠津村

延面積：校舎棟・体育館棟 3,670.31m²

施工業者：北海電工・協信 共同企業体

《工事概要》

〈校舎棟〉

電灯設備・動力設備・幹線設備・受変電設備・電話設備・放送設備・呼出設備・テレビ共同受信設備・防犯カメラ設備・時計設備・インターホン設備・非常警報設備・情報設備・自動火災報知設備・構内配電線路設備・構内通信線路設備・外灯設備

〈体育館棟〉

電灯設備・動力設備・幹線設備・電話設備・拡声設備・テレビ共同受信設備・時計設備・非常警報設備・情報設備・自動火災報知設備

新篠津村は明治29年に現江別市から分村し、石狩川に隣接する総面積78.24km²、人口3,686人の石狩支庁管内北部唯一の村です。アイヌ語の「突き出た顎」の意味である「シリノツ」が村名に由来しています。

現在、村内唯一の中学校である新篠津中学校は、昭和22年6月に発足し、昭和24年11月に最初の校舎が完成しました。その後、昭和41年9月に村内の三つの中学校を新篠津中学校に統合し、昭和42年3月に第一期工事が完成、同年8月に第二期工事の完成をもって現在の校舎となりました。統合当時は9学級・生徒数372名・教職員数17名でしたが、現在は4学級・生徒数108名・教職員数16名となっております。



その校舎も老朽化が進み、新篠津村発注の改築事業として今年の3月より新校舎の建設が始まりました。改築校舎は既設校舎と同一敷地内に建設されます。4月に現場事務所を設営し測量等調査を行い、5月は重機の搬入・コンクリート貯蔵タンクの設営・杭打ち、6月は床堀・基礎砂利の敷設、7月から鉄筋の立て込みと型枠を組み、コンクリートの打設と進み9月初旬に校舎の立ち上げが完了します。その間、電気工事は地中梁スリーブ・接地極打設・床配管・立上スリーブ・ピット配管を行い、工程の遅れもなく順調に施工が進んでおります。

現在、躯体の立ち上げも完了し、いよいよ内装工事が本格化して参ります。配管・配線・器具の取付、機器搬入並びにその設置等々、電気工事も繁忙期を迎えます。

今後、平成22年1月の受電並びに2月26日の竣工まで綿密に作業を進め、安全対策を万全にし、無事故・無災害で平成22年度4月から新校舎を生徒さんはもちろんのこと、教職員や父兄の方々にも快適に使用していただけるよう、よりよい施工を進めて参ります。



左 田村 嘉章 (北海) 右 武藤 尚史 (協信)

厚生委員会行事報告

第3回ゴルフ会 平成21年7月23日(木) 札幌エルムCC 参加者30名

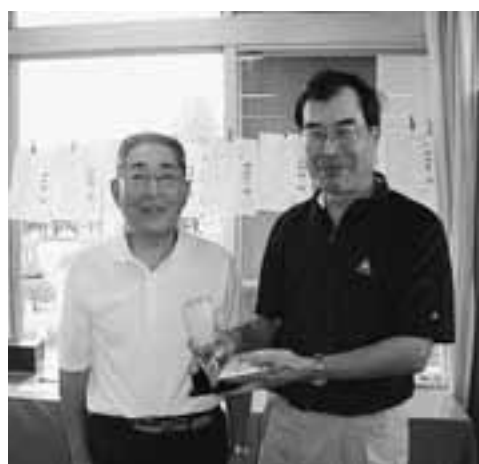
順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	吉田 勇	東邦電設	42	38	80	13	67
準優勝	増山 秀明	六興電気	44	45	89	20	69
1位	桜間 仁敏	北海道古川	41	39	80	9	71
2位	円尾 博一	パナソニック電工	47	49	96	25	71
3位	庄田 修身	タカラ電建	46	46	92	20	72
4位	関戸 武勲	岸野電気	43	47	90	17	73
5位	坂口 興次	ドウデン	47	46	93	20	73
6位	枝並 秀喜	電業協会	41	43	84	10	74
7位	坂本 桂一	きんでん	48	43	91	17	74
8位	三井 尚	札幌日信	48	45	93	19	74
9位	深田 哲	トーエネック	42	43	85	10	75
10位	小林 勇治	三共電気	50	43	93	18	75

(特別賞)

B G	吉田 勇 (東邦電設)	N P	桜間仁敏 (北海道古川)
	桜間仁敏 (北海道古川)	N P	円尾博一 (パナソニック電工)
平和賞	佐藤 修 (弘電社)	N P	坂本桂一 (きんでん)
大波賞	田村富生 (石垣電材)	N P	小林勇治 (三共電気)
小波賞	石田啓二 (月寒製作所)	N P	近藤国雄 (東和電商)
B B賞	鈴木暁彦 (拓北電業)	N P	桜庭謙次 (北電力設備)
ラッキー賞	田村富生 (石垣電材)	N P	松本一雄 (日本電設)



第3回 スタート前の様子



第3回優勝者 吉田さん(左) 加藤総務委員長(右)

第4回ゴルフ会 平成21年9月3日(木) 札幌スコットヒルGC 参加者25名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	松本 一雄	日本電設	42	40	82	12	70
準優勝	坂口 興次	ドウデン	43	47	90	20	70
1位	畳 友佑	北札幌電設	42	44	86	13	73
2位	西 輝男	北都電機	39	47	86	12	74
3位	加藤 定義	北盛電設	48	49	97	23	74
4位	矢田 彰	北弘電社	42	41	83	8	75
5位	枝並 秀喜	電業協会	45	40	85	10	75
6位	佐藤 修	弘電社	41	46	87	12	75
7位	中村 浩章	パナソニック電工	54	49	103	28	75
8位	中村 好宏	旭日電気	43	46	89	12	77
9位	福井 理	北明電気	49	44	93	16	77
10位	坂本 桂一	きんでん	50	44	94	17	77

(特別賞)

B G	松本一雄 (日本電設)	ラッキー賞	住本邦裕 (道タツヲ)	N P	枝並秀喜 (電業協会)
平和賞	深田 哲 (トーエネック)	N P	松本一雄 (日本電設)	N P	佐藤 修×2 (弘電社)
大波賞	西 輝男 (北都電機)	N P	畳 友祐 (北札幌電設)	N P	桜庭謙次 (北電力設備)
小波賞	加藤定義 (北盛電設)	N P	矢田 彰 (北弘電社)		
B B賞	稲津 亘 (北盛電設)	N P	西 輝男 (北都電機)		



第4回優勝者 松本さん(左) 樋口副会長(右)



第1回ボウリング部会報告

今年度、第一回目のボウリング部会が7月10日(金)にノルベサで開催されました。今回は集合時間が早く悪天候と言う事もあり、例年より若干少なめの18名。

しかし人数が少なくてもなんのその、皆さん大ハッスルの大盛り上がり。非常に熱い戦いを繰り広げました。そして優勝はなんと今期からボウリング会の幹事となったわたくし、でんこう藤井。初幹事の日々に初優勝を飾り、華々しく幹事としてデビューしたと言えるのではないのでしょうか。ハンデを大量に頂いての優勝ですが、非常に嬉しく思いました。

準優勝はドウデンの新名さん。ハンデ組が見事に1・2フィニッシュを飾りました。

その後宴会会場へ。しゃぶしゃぶをつつきながら和気藹々と親睦を深めました。

ここで少々豆知識を。ストライクを出した時、他はダブル・フォースと言う様に数字にちなんだ呼び方なのですが、三連続の時だけターキー(七面鳥)と言います。

なぜこう呼ぶ様になったのか。これについては、三つの説があります。

1. ボウリング草創期の頃、アメリカ大陸では野生の七面鳥が食卓の人気メニューだった。それに着目したあるボウリング場の支配人が客集めのアイデアとして、ストライクを3回連続して出したお客に七面鳥をプレゼントしたところ、大人気になったのがきっかけ。
2. 七面鳥が羽を広げると、その羽がちょうどストライクマークを3つ重ねた形に見えるから。
3. オランダ人によってボウリングがアメリカに持ち込まれた頃、当時アメリカにはインディアンがおり、その中に弓の名人がいた。オランダ人が彼らと交流を図っていたある日、その名人が3羽の七面鳥を一本の矢でしとめてしまった。それを見たオランダ人が三連続ストライクをターキーと呼ぶようになった。

普段何気なくターキーと呼んでいましたが、これほど色々な諸説があった事に驚きました。

平成21年度第1回

北海道電業協会ボウリング大会順位表 参加者18名

平成21年7月10日開催

順位	氏名	1G	2G	IGハンデ	トータル	会社名
優	藤井大樹	132	139	48	367	でんこう
準	新名久弥	110	138	52	352	ドウデン
1	森崎亨一	155	154	19	347	北盛電設
2	本間美則	166	110	33	342	拓北電業
3	岡山滋	109	158	36	339	協電社
4	鈴木雅博	193	145	0	338	振興電気
5	小原木正弘	144	155	15	329	弘和電気
6	北片稔弘	145	181	0	326	末廣屋電機
7	十日市樹	168	115	21	325	北弘電社
8	関場憲明	159	130	15	319	安達電設
9	嶋津博	128	122	32	314	島津電設
10	尾形武志	129	134	24	311	ドウデン
	(ハイゲーム賞) 193ピン	鈴木雅博	振興電気			
	(ローゲーム賞) 83ピン	坂本淳	協信電気工業			
	(小波賞) 1ピン	三上哲哉	北電力設備工事			
	(ラッキー賞) 7位	十日市樹	北弘電社			
	(ラッキー賞) 10位	尾形武志	ドウデン			
	(プービー賞)	菅井末行	旭日電気工業			
	(プービーメーカー賞)	田中裕司	末廣屋電機			



優勝者 藤井さん(左) 関場部会長(右)

余談はさておき...

私はこの部会に参加して7年程経ちますが、電気業界の方々と楽しく交流出来る大変素晴らしい会だと思います。

普段参加されていない方も、是非一度顔を出してみてはいかがでしょうか。

ボウリング部会幹事

藤井 大樹 (株でんこう) 記

平成21年度 野球部会活動報告

会員の皆様いつもお世話になっております。

日頃より、野球部会の活動にご協力をいただきまして有難うございます。

さて本年度の会社対抗ソフトボール大会は、9月2日(水)に「つど～む」において開催致しました。

参加チームは、5チーム（ドウデン、北弘電社、北海電気工事、北電力設備工事、橋本電気工事JV）でした。

目の覚めるような長打、華麗なファインプレーありの白熱した試合の結果、みごと優勝に輝いたのは若さあふれる北弘電社チーム、そして準優勝：ドウデンチーム、3位：北電力設備工事チーム、4位：北海電気工事チームという結果でした。

参加頂いた全チームのみなさん来年も今大会以上の素晴らしいプレーをお願いします。又、新チームの参加も期待しております。

今大会もJVチームの参加が1チームありました。1社単独参加でなくても1社数人ずつの個人参加をいただければJVチームを作っていけると思いますので気軽に参加して下さい。

今年以上多数のチームが参加していただき大会が盛り上がりだと思います。

今大会も皆様のご協力により無事終わることができました、幹事一同感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

野球部会幹事一同

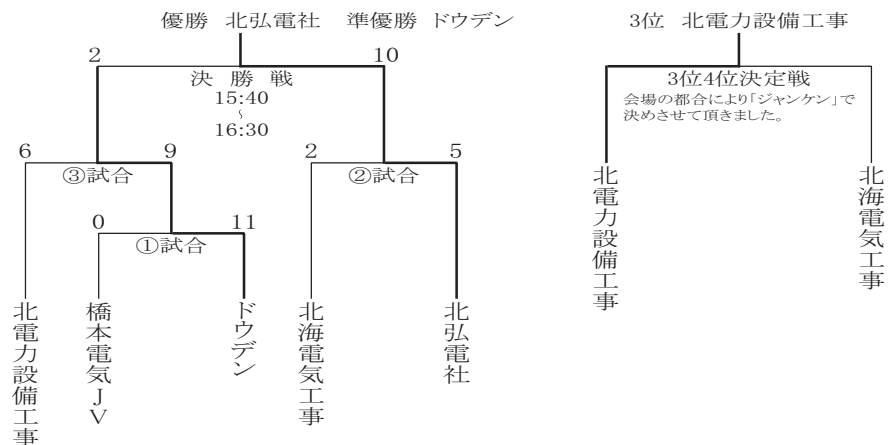
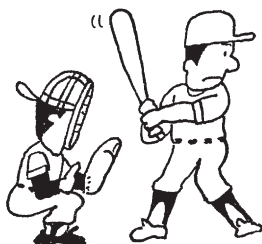


優勝の北弘電社チーム



準優勝のドウデンチーム

成績表



理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成21年8月26日(水) 12:00~13:30

第3回議題

【協議事項】

1. 役員選任の対応について
2. 各委員会21年度事業計画及び委員構成について
3. 平成21年度役員会等の今後の日程について
4. 役員今後の主要スケジュールについて
5. 北海道開発局との意見交換会の開催について
6. 北海道防衛局への対応について
7. 平成21年度経営者懇談会・セミナーの開催について

【報告事項】

8. 会員代表者、法人職務執行者の変更について
9. 本部226回政策委員会の開催概要について
10. 北海道開発局と^{*1}建専連との意見交換会開催概要について
11. 平成21年度北海道の建築工事に係る合同研修会(7/16)について
12. 技術系大学生等との現場見学会開催概要について
13. 平成21年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の後援依頼
14. 平成21年度北海道赤レンガ建築賞候補作品の募集
15. 平成21年度会員大会の開催について
16. 21年8月~9月行事予定について
17. その他意見交換

^{*1} 建専連：北海道建設産業専門団体連合会

|| 三 役 会

◇平成21年7月13日(月) 12:00~13:30

第4回議題

1. 役員選任の対応
2. 各委員会の度事業計画および委員構成
3. 本部226回政策委員会開催概要
4. 北海道開発局幹部と^{*1}建専連との意見交換会概要
5. 平成21年度北海道の建築工事に係る合同研修会
6. 技術系学校教諭と現場見学・懇談会の開催
7. 技術系大学生等との現場見学・懇談会の開催
8. 本部・支部事務連絡会議の開催
9. 平成21年度赤レンガ建築賞実行委員会の開催
10. 建設産業構造改善実行委員会の負担金の取扱
11. 第28回北海道電気安全大会の開催
12. 平成21年度「会員調査」の実施
13. 「公益法人改革セミナー」の開催
14. 平成21年7月~8月行事予定
15. その他意見交換

◇平成21年8月6日(木) 12:00~13:30

第5回議題

1. 役員会の日程(案)
2. 今後の役員等の主要スケジュール
3. 本部・支部事務連絡会議開催概要
4. 平成21年度北海道の建築工事に係る合同研修会開催概要
5. 技術系学校教諭と現場見学・懇談会の開催結果
6. 技術系大学生等との現場見学・懇談会の開催結果
7. 平成21年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の後援依頼
8. 平成21年度赤レンガ建築賞候補作品の募集

9. 平成21年度会員大会の開催
10. 平成21年8月～9月行事予定
11. その他意見交換

◇平成21年9月16日(水) 12:00～13:30

第6回議題

1. 北海道防衛局との意見交換会の開催(案)
2. 平成21年度経営者懇談会・セミナー開催要領(案)
3. 電設協第227回政策委員会開催概要
4. 北海道開発局と電気・空衛協会との意見交換会
5. 登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催結果
6. 平成21年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の協力依頼
7. 平成21年度会員大会の開催
8. 公共事業労務費調査(21年10月)の実施協力依頼
9. 建設業関連団体からの公開質問に対する民主党の回答
10. 電力活用地区協議会「平成21年度見学会」の開催
11. 「建築整備士」創立20周年広告のお願い
12. 平成21年度9月～10月行事予定
13. その他意見交換

経営委員会

◇平成21年7月17日(金) 12:00～13:30

第2回議題(議長:元永副委員長)

1. 第1回議事録(案)の承認
2. 北海道防衛局への対応
3. 電設協第226回政策委員会の開催概要
4. 北海道開発局と*1建専連との意見交換会開催概要
5. 平成21年度北海道の建築工事に係る合同研修会
6. 平成21年度分離発注状況調査報告
7. 平成21年度札幌市電気設備施行研修会
8. その他意見交換

◇平成21年9月10日(木) 12:00～13:30

第3回議題(議長:中鉢副委員長)

1. 第2回議事録(案)の承認
2. 電設協第227回政策委員会の開催概要
3. 北海道との建築工事に係る意見交換会開催概要
4. 北海道開発局と電気・空衛協会との意見交換会
5. 分離発注のための陳情要請活動
6. その他意見交換

広報委員会

◇平成21年9月25日(金) 15:00～17:00

第2回議題

1. 新春特集
2. 会報「冬号」編集方針
3. 会報「秋号」校正
4. その他意見交換



事務局日誌

7月8日(水)・*1建専連と北海道開発局との意見交換会 広島専務理事
 9日(木)・本部226回政策委員会(東京) 山口副会長
 10日(金)・第1回ボウリング部会
 13日(月)・第5回三役会議
 16日(木)・本部272回運営委員会(東京) 吉川支部長
 ・北海道と4団体との意見交換会(ホテルKKR) 中野副会長他
 17日(金)・経営委員会
 22日(水)・札幌市電気設備施工研修会
 23日(木)・本部理事会(東京) 吉川支部長
 ・第3回ゴルフ部会(エルムカントリー)
 29日(水)・技術系学校先生との現場見学・懇談会
 31日(金)・本部、支部事務局長会議(東京) 広島専務理事

8月5日(水)・技術系学校学生との現場見学
 6日(木)・第6回三役会議

・公益法人講習会 広島専務理事他
 26日(水)・第3回理事会
 28日(金)・歌唱部会
 9月2日(水)・会社対抗ソフトボール大会
 3日(木)・本部227回政策委員会(東京) 山口副会長
 ・第4回ゴルフ部会コンペ(スコットヒル)
 4日(金)・本部運営委員会(東京) 吉川支部長
 7日(月)・1級実地受験準備講習会(セントラル札幌北ビル)
 9日(水)・開発局営繕部と電気・空衛協会との意見交換会
 10日(木)・第2回経営委員会
 11日(金)・登録電気工事基幹技能者特例講習会(電気会館)
 ・第2回ボウリング部会
 16日(水)・第6回三役会議
 18日(金)・本部理事会(東京) 吉川支部長
 25日(金)・第2回広報委員会
 29日(火)・防衛局との意見交換会

社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 顧客と社会から信頼され、「健全経営」と「人材確保」の出来る業界を目指して、「適正で合理的な競争」を展開しよう
2. 建設工事の品質と透明性を確保し、顧客ニーズに的確に応える「分離発注」を引き続き推進しよう
3. 地球環境の保全、省エネ・環境資源に役立つ「技術・資材」を活用し、持続可能な社会の実現に貢献しよう

編集後記

「会報秋号」発刊にあたりまして大変示唆に富んだ巻頭言をお寄せいただきました北海道建設部参事の増田様に心からなる感謝を申し上げます。氏の言われる「時の経過とともに価値を増す公共建設物の整備」に対応すべく我々業界こぞって高度技術を駆使した「質の高いものづくり」に専念しなければならないことを再認識したところであります。

政権交代が具現化した今、自民党政権下の社会組織の中で暮らしてきた「者」としては今後の「流れ」に対して「言うに言われぬ不安感」でいっぱいであります。これまで築いてきた「高品質」を「安全施工」で「お客様の要望を満たすものづくり」に徹して邁進していかなければならないことを「肝に銘じて」おる次第であります。

今後とも諸兄にはご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます編集後記とします。

広報委員長 橋本 耕二



発行 平成21年10月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp